

北星学園大学チャペルコンサート2016

シェイクスピアと音楽

シェイクスピア没後400年

彼の舞台ではどのような音楽が

使われていたのだろうか？

同時期に活躍した

ジョン・ダウランドの音楽をまじえて

16世紀末の音楽に触れてみるひととき

<曲目>

「ウインザーの陽気な女房たち」

より Green Sleeves

「オセロー」より Willow Song

「ハムレット」より Walsingham

他

2016.10.13(木) 12:10～ 於 北星学園大学チャペル
(東西線大谷地駅徒歩5分) **入場無料・予約不要**



●リユート 高本一郎

相愛大学音楽学部卒業後、フランス国立ストラズブール音楽院でリユートを学び、ルーヴル美術館でのソロ公演、フランスのTV放送、CM音楽製作、多数のCD録音、演劇・能狂言・落語、日本伝統音楽とのコラボなど多彩な演奏活動を展開。「日本テレマン協会」ソリスト。CD『シャコンヌ・オリエンターレ』がANA国際線およびAirDOの機内オーディオに選ばれる。「Come Again いま、君に逢いたい」発売中。

●歌 小出あつき

北海道教育大学札幌分校卒業。ルネサンス・バロック期の作品を宇田川貞夫、波多野睦美、小林木綿、岩淵恵美子、濱田芳通各氏に学び、各セミナーなどに参加し研鑽。近年はバロック期の歌曲等を中心に活動しながら

‘07年より「札幌表現舎」に所属し「表現」について模索。’11年からは高本一郎氏とライブ、コンサートを行っている。司会者、CMシンガー、役者としても道内で活動。

●朗読 松橋勝巳

俳優、ナレーター、司会者、ラジオパーソナリティなど、映画や舞台、テレビやラジオなどで幅広く活躍中。HTB「イチオシ!」ナレーター。この他にもミュージカルやオペラの出演多数。札幌表現舎トレーナー。10月末「親の顔が見たい」12月「父と暮らせば」など出演予定。

